

長崎 外来・救急医療教育室協議会

平成28年度 事業報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

ごあいさつ



長崎大学病院 医療教育開発センター

長崎 外来・救急医療教育室

室長 長谷 敦子 (ながたにあつこ)

これまで「外来研修」と「救急医療教育室」に協力していただいた4医療機関と協議会を作り、平成28年4月より新たなスタートを開始した『長崎 外来・救急医療教育室』による医療支援及び医療人教育事業について、平成28年度の活動を報告いたします。

『長崎 外来・救急医療教育室』は、長崎大学病院群の研修医が協力病院でセンター専任教員と一緒に勤務し、マンツーマン指導のもと、プライマリケア、初期・2次救急医療の様々な症例のファーストタッチを行い、研修を受けることができることをコンセプトとして事業を行っております。研修医にとっては、大学病院で経験できない臨床を学び、また協力病院や地域の魅力を知ってもらう良い機会となっております。学生へのアピールも効果があり、おかげ様で平成28年度はフルマッチを達成することができ、平成29年度より64名の研修医を迎えました。

この『長崎 外来・救急医療教育室』での研修を通して外来および救急医療の基礎を学んだ研修医が、今後はそれを活かして地域医療や救急医療に積極的に協力する中核の医師となり、長崎県全ての地域で活躍してくれる事を強く望んでおります。協力病院においては、臨床の場を提供していただくことで、我々の事業が病院・地域の活性化に繋がるように努力していきたいと思っておりますので、今後ともご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

目次

1.長崎 外来・救急医療教育室協議会の目標	・・・ P 1
2.目標に対する結果	
目標 1：医学生教育を通じて、マッチングの促進を行う。	・・・ P 2- P 3
目標 2：研修医教育における初期・2次救急医療教育の充実を図る。	・・・ P 4
目標 3：日本救急医学会の救急初期対応の資格であるICLSを取得させる。	・・・ P 5
目標 4：厚労省が示す初期臨床研修の到達目標をクリアさせる。	・・・ P 6- P 8
目標 5：協力病院における、通常外来及び救急外来の患者数の維持。	・・・ P 9- P 10
目標 6：協力病院の救急車受入台数の維持	
目標 7：医師不足による勤務医の疲弊防止	・・・ P 11
目標 8：外来及び救急外来勤務要員の確保	・・・ P 12
3.外来・救急医療教育室を研修した研修医による指導医の評価結果	・・・ P 13

【教育】

目標1：医学生教育を通じて、マッチングの促進を行う。

- 1-1：長崎大学病院を見学に来た医学生に初期臨床研修の説明を行う。
- 1-2：初期臨床研修説明会等のイベント、医学部講義・実習等にて医学生に説明を行う。
- 1-3：医学生との情報交換、初期臨床研修説明を目的とした懇親会を行う。

目標2：研修医教育における初期・2次救急医療教育の充実を図る。

- 2-1：長崎大学基幹型の研修医100%に、協力病院での外来研修を経験させる。
- 2-2：長崎大学基幹型の研修医100%に、協力病院（輪番）での救急医療研修を経験させる。また、長崎大学病院以外の研修医の取得も推進する。

目標3：日本救急医学会の救急初期対応の資格であるICLSを取得させる。

- 3-1：長崎大学基幹型の研修医80%に、救急学会の救急初期対応の資格であるICLSを取得させる。また、長崎大学病院以外の研修医の指導も推進する。

目標4：厚労省が示す初期臨床研修の到達目標をクリアさせる。

- 4-1：長崎大学基幹型の研修医100%に、厚労省が示す研修の救急関連の到達目標をクリアさせる。

【臨床】

目標5：協力病院における、通常外来及び救急外来の患者数の維持。

- 5-1：協力病院における通常外来の患者数を維持する。
- 5-2：協力病院における救急外来の患者数を維持する。

目標6：協力病院の救急車受入台数の維持

- 6-1：協力病院における救急車受入台数を維持する。

【その他】

目標7：医師不足による勤務医の疲弊防止

- 7-1：協力病院の外来及び救急外来に医師を派遣する。

目標8：外来及び救急外来勤務要員の確保

- 8-1：協力病院の外来及び救急外来へ、長崎 外来・救急医療教育室所属医8名と協力医1名を派遣する。

2. 目標に対する結果

目標1：医学生教育を通じて、マッチングの促進を行う。

結果1-1

長崎大学病院を見学に来た医学生への説明

見学者数（H28.4～H29.3）

平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年生									1名			1名	2名
4年生							1名		1名	1名	3名	9名	15名
5年生	1名	1名		1名	26名	5名			2名	1名		11名	48名
6年生	2名	8名	4名	8名	1名	1名							24名
既卒者		1名											1名
合計	3名	10名	4名	9名	27名	6名	1名	0名	4名	2名	3名	21名	90名

結果1-2

初期臨床研修説明会等のイベント、医学部講義・実習等における説明

平成28年度	イベント・講義・実習名	場所	対象	参加者人数（延べ）
平成28年4月1日	長崎大学クリニック説明会	長崎大学医学部	医学部6年生	124名
平成28年4月27日	救急医学「心肺蘇生法と脳死判定」	長崎大学医学部	医学部4年生	133名
平成28年5月8日	2016メック病院説明会	JR博多シティ	医学生	32名
平成28年6月25日	ALL長崎 合同説明会	長崎大学病院	医学生	79名
平成28年6月28日	マッチング前説明会	長崎大学病院	医学部6年生	124名
平成28年7月3日	レジナビフェア2016 in 大阪	インテックス大阪	医学生	19名
平成28年7月17日	レジナビフェア2016 in 東京	東京ビッグサイト	医学生	32名
平成28年10月10日	eレジナビフェア2016 in 福岡	福岡国際会議場	医学生	41名
平成29年1月5日	長崎大学クリニック説明会	長崎大学医学部	医学部5年生	108名
平成29年1月6日	長崎大学ポリクリ説明会	長崎大学医学部	医学部4年生	136名
平成29年3月6日	レジナビフェア2017 in 福岡	マリノッセ福岡	医学生	31名
4月～3月	救急医療教育室説明会	済生会長崎病院	医学生	23名
4月～3月	在宅医療実習ポリクリ説明会	長崎大学病院	医学生	40名
合計				922名



見学者説明



2016メック病院説明会

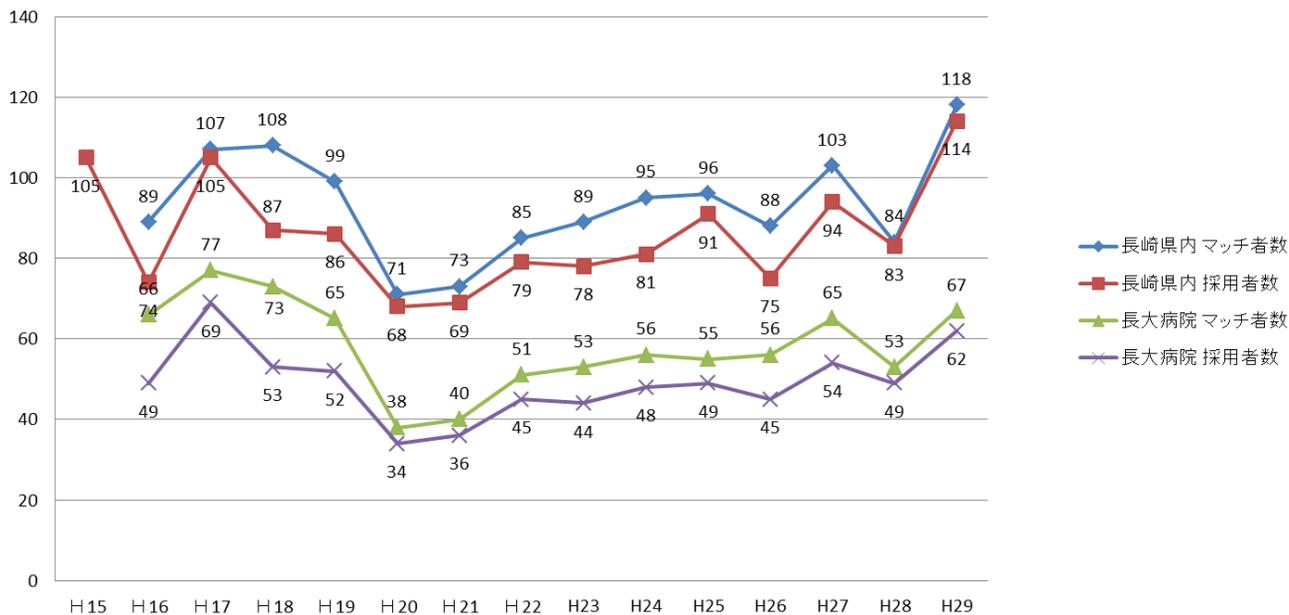


ALL長崎 合同説明会

開催日時	平成29年2月3日（金） 18：30～20：00
開催場所	長崎中華 龍宴
開催目的	医学生との情報交換及び、来年度へ向けたマッチング促進のため
参加者数	長崎大学医学部5年生 93名 長崎大学病院研修医 19名 済生会長崎病院医師 3名 長崎記念病院医師 1名 長崎県上五島病院医師 1名 長崎県島原病院医師 2名 長崎大学病院医師 49名 長崎大学病院事務 5名 計 173名



参考資料：長崎県内のマッチング・採用者数と長崎大学病院のマッチング・採用者推移



2. 目標に対する結果

目標2：研修医教育における初期・2次救急医療教育の充実を図る。

平成28年度 長崎大学病院 勤務研修医数

	院内勤務	院外勤務	合計
平成27年度研修医	18名	36名	54名
平成28年度研修医	45名	5名	50名
合計	63名	41名	104名

結果2-1

協力病院にて**外来研修**を経験した平成28年度長崎大学病院勤務研修医

H28年4月～H28年10月 協力病院別外来研修経験者数

	平成27年度研修医	平成28年度研修医	合計	割合※
研修医数	18名	45名	63名	-
済生会病院	8名	35名	43名	68%
記念病院	9名	44名	53名	84%
上五島病院	4名	44名	48名	76%
島原病院	0名	43名	43名	68%

※研修医のうち、協力病院で外来研修を経験した者の割合

H28年4月～H28年10月 外来研修経験者数、平均経験回数（全体）

	平成27年度研修医	平成28年度研修医	合計	割合※
研修医数	18名	45名	63名	-
外来研修1回以上	12名	45名	57名	90%
平均経験回数	1.6回	6.8回	5.3回	-

※研修医のうち、協力病院で外来研修を1回以上経験した者の割合

結果2-2

輪番病院にて**救急医療研修**を経験した平成28年度長崎大学病院勤務研修医

H28年4月～H29年3月 協力病院別救急医療研修経験者数

	平成27年度研修医	平成28年度研修医	合計	割合※
研修医数	18名	45名	63名	-
済生会病院	6名	40名	46名	73%
記念病院	4名	39名	43名	68%

※研修医のうち、協力病院で救急外来研修を経験した者の割合

H28年4月～H29年3月 救急医療研修経験者数、平均経験回数（全体）

	平成27年度研修医	平成28年度研修医	合計	割合※
研修医数	18名	45名	63名	-
救急医療研修1回以上	8名	44名	52名	83%
平均経験回数	1.0回	2.2回	1.9回	-

※研修医のうち、協力病院で救急外来研修を1回以上経験した者の割合

目標3：日本救急医学会の救急初期対応の資格であるICLSを取得させる。

結果3-1

ICLS※コース受講者数（全体）

※ICLS：Immediate Cardiac Life Support

	開催日	受講者	コース ディレクター	インストラクター	アシスタント インストラクター	タスクフォース
第1回ICLSコース	H25.8.24	12名	1名	3名	3名	1名
第2回ICLSコース	H25.11.23	11名	1名	3名	8名	1名
第3回ICLSコース	H26.6.14	12名	2名	3名	4名	2名
第4回ICLSコース	H26.8.23	11名	2名	3名	3名	1名
第5回ICLSコース	H26.11.1	12名	2名	3名	9名	1名
第6回ICLSコース	H27.2.21	12名	2名	4名	7名	1名
第7回ICLSコース	H27.6.6	17名	2名	4名	7名	1名
第8回ICLSコース	H27.8.22	18名	2名	5名	6名	1名
第9回ICLSコース	H27.10.30	12名	2名	4名	3名	1名
第10回ICLSコース	H28.2.13	13名	2名	2名	6名	1名
第11回ICLSコース	H28.6.11	18名	2名	7名	4名	1名
第12回ICLSコース	H28.8.20	12名	2名	4名	6名	1名
第13回ICLSコース	H28.11.26	17名	5名	5名	7名	1名
第14回ICLSコース	H29.2.11	11名	2名	4名	5名	1名

長崎大学病院基幹型研修医 受講率

	研修医総数※	受講者数	受講率
平成24年度研修医	48名	7名	15%
平成25年度研修医	49名	26名	53%
平成26年度研修医	45名	43名	96%
平成27年度研修医	54名	53名	98%
平成28年度研修医	50名	43名	86%

※研修医総数は他病院で研修中の研修医も含む



目標4：厚労省が示す初期臨床研修の到達目標をクリアさせる。

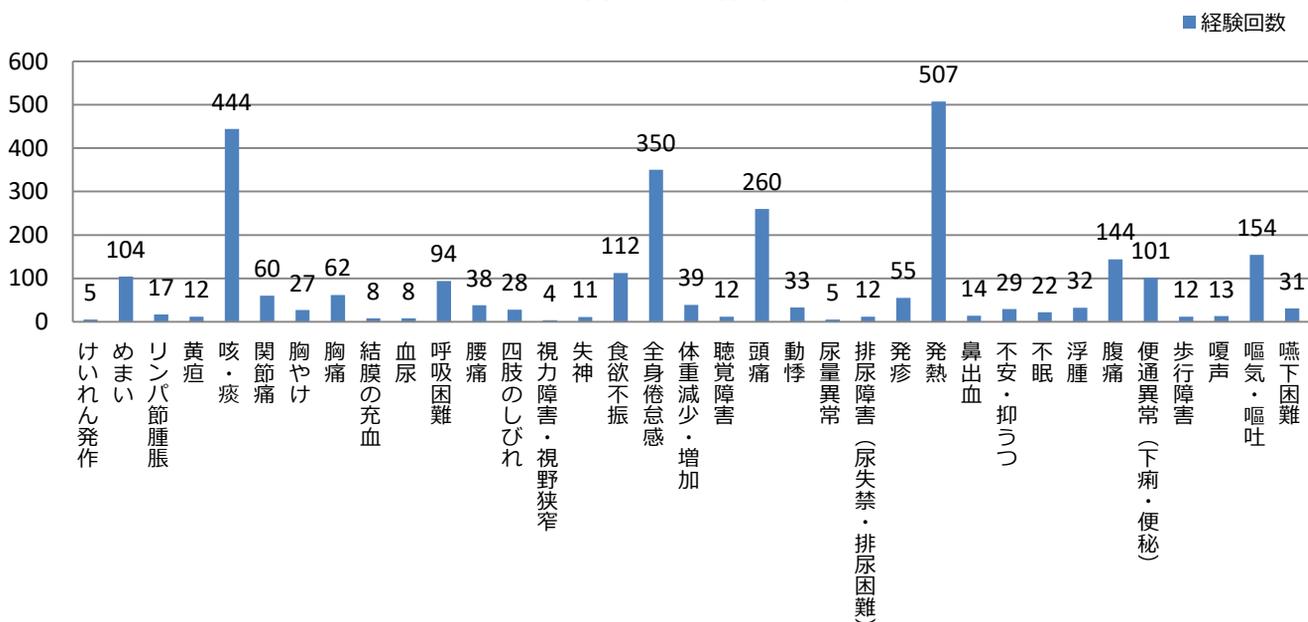
結果4-1

厚労省が示す研修の到達目標達成状況

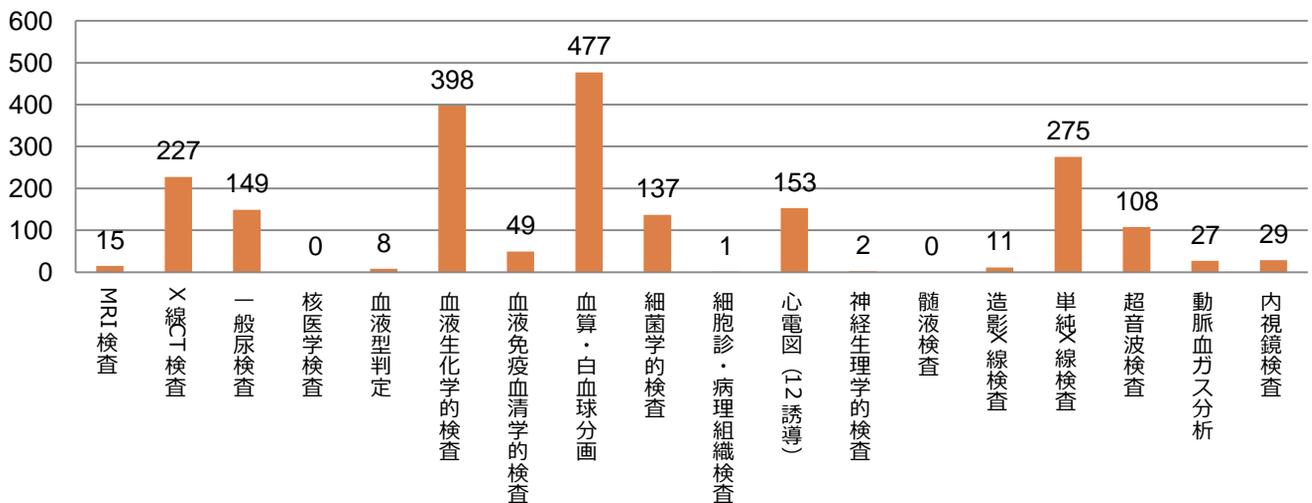
平成28年4月～平成29年3月

	到達目標項目数	経験した項目数	経験回数 (延べ)	研修医1人当たり の経験回数
頻度の高い症状	35	35	2,859	46
基本的な臨床検査	20	18	2,081	34
基本的手技	19	18	457	7
救急を要する病状・病態	17	16	129	2
経験が求められる疾患・病態	81	63	699	11
救急医療	7	6	238	4
医療記録	8	8	1,956	32
診療計画	4	4	130	2

頻度の高い症例（経験回数）

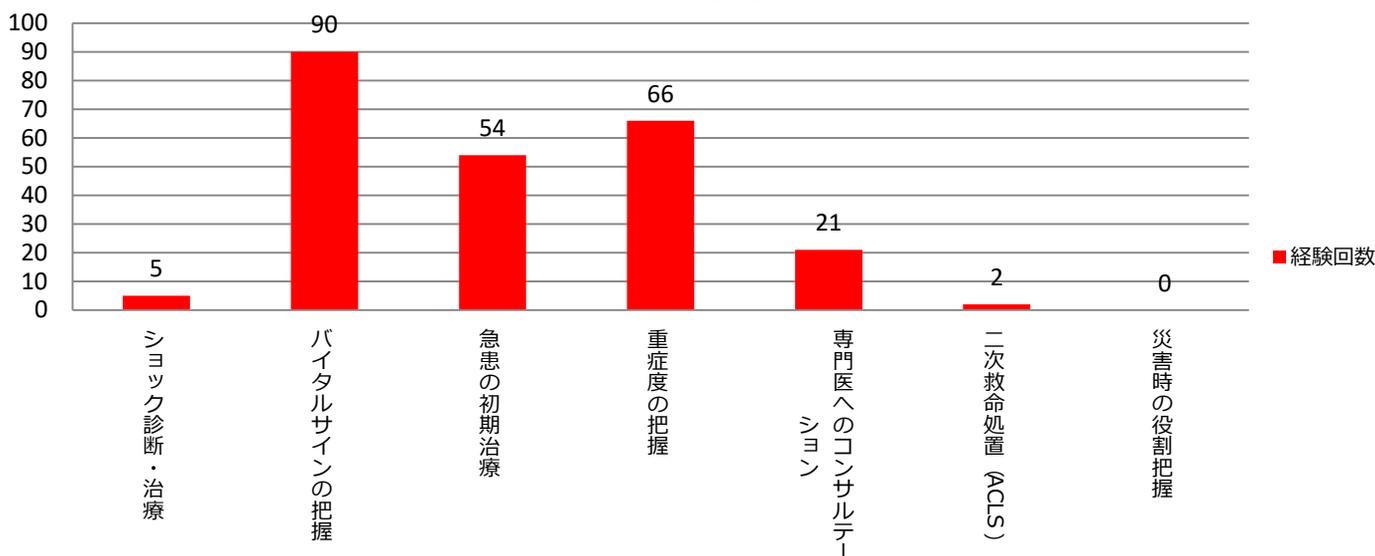


基本的な臨床検査（経験回数）

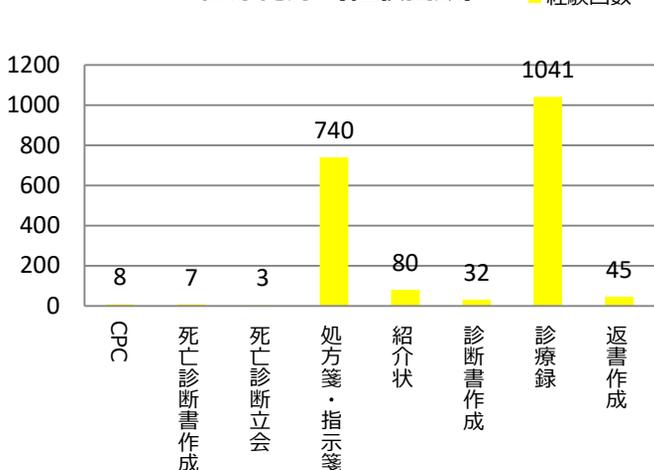


結果4-1

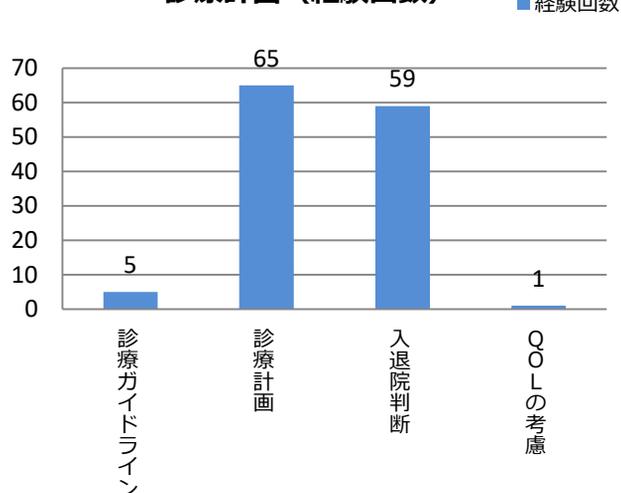
救急医療（経験回数）



医療記録（経験回数）



診療計画（経験回数）



平成27年度長崎大学病院基幹型研修医は54名全員（100%）が厚労省が示す初期臨床研修の到達目標をクリアし、修了した。
平成28年度研修医は目標のクリアに向けて2年目の研修中である。



2. 目標に対する結果

目標5：協力病院における、通常外来及び救急外来の患者数の維持。

目標6：協力病院の救急車受入台数の維持。

結果5-1

結果5-2

結果6-1

済生会長崎病院

月別 外来・救急外来患者数（平成27年度）

(名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	患者数	4,862	4,552	5,131	4,975	4,518	4,674	5,033	4,491	4,739	4,169	4,633	5,062	56,839
	うち入院数	2	22	16	26	28	20	25	0	23	12	21	15	210
救急外来	患者数	354	403	351	371	408	371	340	376	394	379	357	357	4,461
	うち入院数	138	166	147	145	153	154	112	158	154	165	143	157	1,792
	救急車受入台数	154	172	155	178	173	163	153	191	177	186	153	172	2,027

月別 外来・救急外来患者数（平成28年度）

(名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	患者数	4,285	4,396	4,721	4,579	4,755	4,403	4,036	4,099	4,068	3,983	3,932	4,361	51,618
	うち入院数	7	22	0	9	12	35	83	88	83	76	81	71	567
救急外来	患者数	330	338	281	401	401	278	263	248	267	351	245	281	3,684
	うち入院数	146	146	160	175	177	125	79	59	65	94	65	75	1,366
	救急車受入台数	188	177	175	222	267	133	198	164	196	223	219	217	2,379

		H27年度	H28年度	前年比※
外来	患者数	56,839	51,618	-9.2%
	うち入院数	210	567	170.0%
救急外来	患者数	4,461	3,684	-17.4%
	うち入院数	1,792	1,366	-23.8%
	救急車受入台数	2,027	2,379	17.4%

※赤字は増、青字は減

長崎記念病院

月別 外来・救急外来患者数（平成27年度）

(名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	患者数	8,818	8,195	8,956	9,402	8,392	8,470	8,598	8,080	8,490	7,601	8,317	9,127	102,446
	うち入院数	33	40	42	53	40	53	36	43	39	42	45	50	516
救急外来	患者数	571	703	584	726	688	692	543	603	609	750	879	677	8,025
	うち入院数	140	132	149	163	172	133	133	134	127	170	150	133	1,736
	救急車受入台数	76	70	82	90	103	64	60	54	53	75	71	76	874

月別 外来・救急外来患者数（平成28年度）

(名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	患者数	7,818	7,911	8,210	8,336	8,653	8,143	8,380	8,376	8,219	7,812	7,574	8,648	98,080
	うち入院数	50	31	60	51	49	49	47	60	41	48	50	52	588
救急外来	患者数	494	632	510	664	665	560	568	536	588	733	647	601	7,198
	うち入院数	108	119	129	141	172	138	127	115	119	139	115	130	1,552
	救急車受入台数	47	51	61	91	77	60	72	59	64	83	50	72	787

		H27年度	H28年度	前年比※
外来	患者数	102,446	98,080	-4.3%
	うち入院数	516	588	14.0%
救急外来	患者数	8,025	7,198	-10.3%
	うち入院数	1,736	1,552	-10.6%
	救急車受入台数	874	787	-10.0%

※赤字は増、青字は減

長崎県上五島病院

月別 外来患者数（平成27年度）

(名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	患者数	10,891	9,958	10,786	11,420	10,465	10,621	10,910	10,214	10,831	10,092	10,498	11,487	128,173
	うち入院数	188	174	204	180	203	164	163	186	199	177	179	182	2,199

月別 外来患者数（平成28年度）

(名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	患者数	10,642	10,699	10,865	10,918	11,297	9,761	9,893	10,093	10,003	10,027	9,842	10,841	124,881
	うち入院数	175	182	203	184	204	188	205	190	173	191	178	186	2,259

		H27年度	H28年度	前年比※
外来	患者数	128,173	124,881	-2.6%
	うち入院数	2,199	2,259	2.7%

※赤字は増、青字は減

長崎県島原病院

月別 外来患者数（平成27年度）

(名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	患者数	5,065	4,486	5,043	5,033	4,593	4,738	4,881	4,502	4,772	4,576	4,685	4,886	57,260
	うち入院数	155	155	169	161	178	139	157	144	133	175	146	166	1,878

月別 外来患者数（平成28年度）

(名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	患者数	4,364	4,314	4,651	4,701	4,589	4,543	4,689	4,677	4,436	4,465	4,457	4,924	54,810
	うち入院数	149	166	172	177	166	154	174	187	160	168	205	203	2,081

		H27年度	H28年度	前年比※
外来	患者数	57,260	54,810	-4.3%
	うち入院数	1,878	2,081	10.8%

※赤字は増、青字は減

協力病院総計

総数		H27年度	H28年度	前年比※
外来	患者数	344,718	329,389	-4.4%
	うち入院数	4,803	5,495	14.4%
救急外来	患者数	12,486	10,882	-12.8%
	うち入院数	3,528	2,918	-17.3%
	救急車受入台数	2,901	3,166	9.1%

※赤字は増、青字は減

目標7：医師不足による勤務医の疲弊防止。

結果7-1

平成28年度 外来・救急医療教育室医師の派遣回数（4月～3月）

済生会長崎病院

月別外来・救急外来 派遣回数（平成28年4月～平成29年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
木曜外来	4回	3回	5回	4回	3回	4回	4回	3回	5回	4回	4回	5回	48回
救急外来	7回	9回	9回	11回	14回	11回	9回	9回	9回	9回	8回	8回	113回
合計	11回	12回	14回	15回	17回	15回	13回	12回	14回	13回	12回	13回	161回

長崎記念病院

月別外来・救急外来 派遣回数（平成28年4月～平成29年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月曜外来	3回	4回	4回	3回	5回	3回	4回	4回	4回	3回	4回	3回	44回
火曜外来	2回	4回	4回	4回	5回	4回	3回	5回	4回	4回	4回	4回	47回
水曜外来	2回	2回	5回	3回	4回	3回	3回	4回	3回	3回	2回	4回	38回
木曜外来	3回	3回	4回	3回	3回	3回	4回	2回	4回	4回	4回	5回	42回
救急外来	4回	3回	3回	4回	5回	4回	47回						
合計	14回	17回	21回	17回	21回	17回	18回	18回	18回	18回	19回	20回	218回

長崎県上五島病院

月別外来 派遣回数（平成28年4月～平成29年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水曜外来	3回	3回	4回	2回	5回	4回	3回	2回	4回	4回	3回	5回	42回
木曜外来	2回	2回	3回	4回	3回	4回	3回	2回	2回	4回	4回	5回	38回
合計	5回	5回	7回	6回	8回	8回	6回	4回	6回	8回	7回	10回	80回

長崎県島原病院

月別外来 派遣回数（平成28年4月～平成29年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水曜外来	4回	3回	5回	4回	5回	4回	4回	4回	3回	4回	3回	5回	48回
合計	4回	3回	5回	4回	5回	4回	4回	4回	3回	4回	3回	5回	48回

派遣回数合計

507回



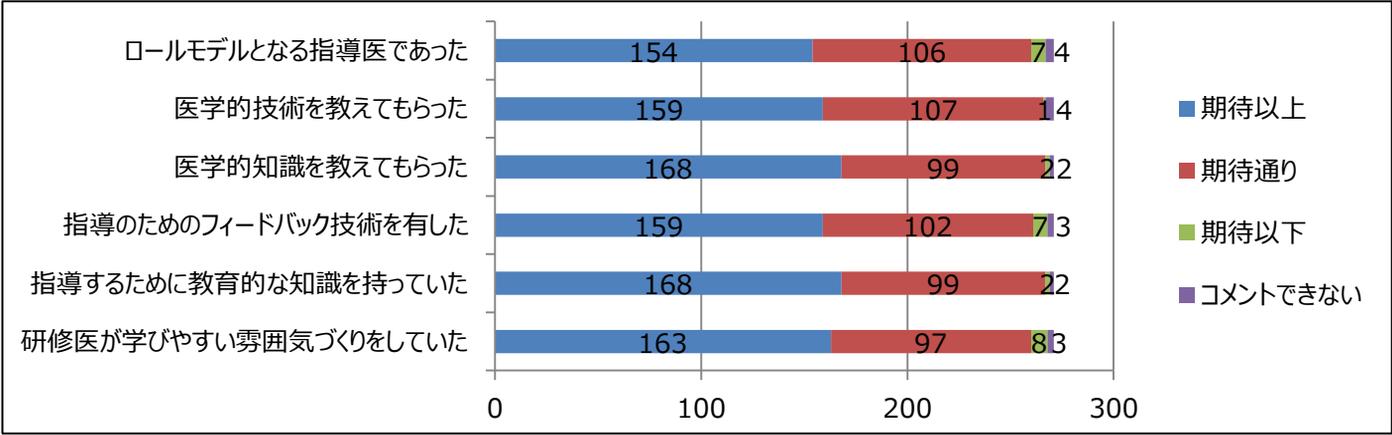
目標8：外来及び救急外来勤務要員の確保。

結果8-1

平成28年度 外来・救急外来担当医一覧（4月～3月）

協力病院	担当業務	担当医	専門分野	資格
済生会長崎病院	木曜外来	A	医学教育 消化器内科学	厚生労働省認定 臨床研修指導医・臨床研修プログラム責任者 日本内科学会 認定医 インフェクションコントロールドクター 日本消化器病学会 専門医 日本内視鏡学会 専門医 日本プライマリ・ケア学会 認定医・指導医
	救急外来、手術麻酔	B	救急医学 麻酔科学 蘇生学	厚生労働省認定 臨床研修指導医 麻酔指導医 日本救急医学会 専門医・指導医 日本蘇生学会 指導医 JATECインストラクター、インストラクタートレーナー DAMインストラクター ICLSコースディレクター
	救急外来	C (協力医)	救急医学 災害医学 外科学	厚生労働省認定 臨床研修指導医・臨床研修プログラム責任者 日本外科学会 外科認定医 日本救急医学会 救急科専門医
	救急外来	D	麻酔医学 救急医学 災害医学 シミュレーション教育	厚生労働省認定 臨床研修指導医 厚生労働省認定 麻酔科標榜医 日本麻酔科学会認定 指導医・専門医 日本救急医学会 救急科専門医 日本DMAT、統括DMAT、DMATインストラクター 国際緊急援助隊登録 長崎県災害医療コーディネーター
長崎記念病院	月曜外来・病棟、水曜外来	A	同上	同上
	救急外来、手術麻酔	B	同上	同上
	火曜外来	E	消化管疾患	厚生労働省認定 臨床研修指導医 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本ヘリコプター学会 認定医
	木曜外来	F	呼吸器内科 がん薬物療法	厚生労働省認定 臨床研修指導医 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会 専門医 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
長崎県上五島病院	水曜外来、健診	G	内科一般 リウマチ・膠原病	厚生労働省認定 臨床研修指導医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本リウマチ学会 専門医・指導医・登録ソノグラファー
	水曜外来、健診	H	内科一般 リウマチ・膠原病	厚生労働省認定 臨床研修指導医 日本内科学会 認定内科医 日本リウマチ学会 専門医・登録ソノグラファー
	木曜外来、健診	I	鼻科学 音声科学	厚生労働省認定 臨床研修指導医 日本耳鼻咽喉科学会 専門医 補聴器相談医 医療系大学間共用試験実施評価機構認定 OSCE外部評価者
長崎県島原病院	水曜外来	J	肝疾患	厚生労働省認定 臨床研修指導医 日本内科学会 総合内科専門医 日本消化器病学会 専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本肝臓学会 専門医

(実施期間：平成28年4月～平成29年3月 アンケート回答数：271)



指導を受けた研修医からのアンケートコメント（抜粋） ※赤字は特に複数の回答があったもの

【最も良かったこと】

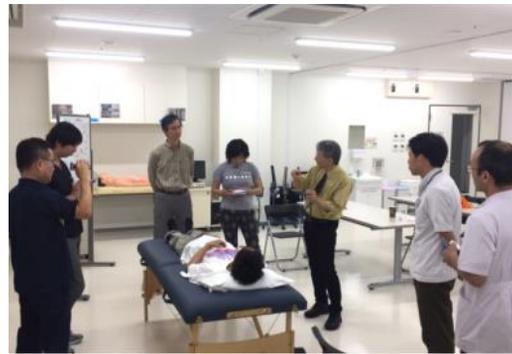
- ・ 落ち着いて研修ができる雰囲気を作ってくれた点。
- ・ ショートプレゼンテーションにおける病歴要約の作法を学べたこと。
- ・ 医学的知識だけではなく、患者や医療スタッフとの関わり方も教えてくれた。
- ・ 研修先の病院でレジチェックを使い症例の登録ができる事。
- ・ マンツーマンの指導で、丁寧なフィードバックがある点。
- ・ 通常の外来だけでなく、健診や小児への予防接種も経験できた。
- ・ 抗菌薬の使い方やDM治療など詳しく教えていただいた。
- ・ 長崎の地域医療の実態について学べたこと。
- ・ 他院へのコンサルト・搬送の流れを行えたこと。
- ・ 肝胆膵、IVCなどをエコーで評価できた。島原の姫松屋で具雑煮が食べれたこと。
- ・ 市中病院での救急実習。ファーストタッチを数多く行うことができた。
- ・ 完全に初期対応を任せられる。また、患者に説明中に困った時など先生についてほしい場合にはすぐに来てくれる。
- ・ 腰椎麻酔、全身麻酔を体験できたこと。
- ・ インフルエンザの診療など2年目で多く診そうな症例を先生の指導の下で経験できた。
- ・ ヘリコプターが無事着陸したこと。
- ・ 一年間を通して、だいぶ患者さんとスムーズに会話しつつ診察できるようになりました。
- ・ 指導医がエビデンスに基づいた診断、治療を行っていた。なんとなく先輩方が行っている処方を引き継ぐのではなく自分なりに考える事の大切さを教えて頂いた。

【学んだこと】

- ・ 鑑別をあげることの大切さ。
- ・ 紙カルテへの記載方法、外来での時間配分。
- ・ 地域医療（大学病院と異なるスタイル）
- ・ 薬の処方について。看護師さんからもいろいろ学ばせて頂いた点。
- ・ もっと積極的に動くべきということ。
- ・ 患者さんの事情を理解し、医師としてアドバイスをすることが時に必要だということ。
- ・ 色々な職種の人とのコミュニケーション。
- ・ 主訴からどういった鑑別を考え、検査をたてていくべきかということを学んだ。
- ・ 離島など地域の病院では生活習慣病の患者さんが多いため、今後生活指導ができるように栄養などについても勉強する必要があることを学んだ。
- ・ 次もまた外来へ来てもらえるように指導することの大切さ。
- ・ 鑑別の為に聞くべき陰性所見を学べた。
- ・ 緊急性の有無について。CPAでの指示係を初めてやらせていただき、とても勉強になった。
- ・ プライマリー診察の仕方。
- ・ ウイルス性、細菌性の身体所見。
- ・ 麻酔科の復習（昇圧剤、降圧剤などの薬の使い方、気管挿管などの手技）、日常診療対応。
- ・ 点滴交換（ポート）、気管カニューラ交換。
- ・ 紹介状の書き方。患者さんへの説明の仕方。
- ・ 大学病院と市中病院の違い。
- ・ 耳鼻科の基本的な診察の仕方、抗菌薬、抗アレルギー薬の使い方。
- ・ 医療も法律で様々な規制が定められていることを知った。
- ・ 肝障害の鑑別の仕方、問診の仕方。
- ・ 限られた資源、時間の中でできること、できないことをしっかりと患者さんに説明すること。
- ・ アナフィラキシーショックの対応。

【改善すべき点】

- ・ 時間が短い。検査の途中で時間切れになると経過が追えない。
- ・ 患者さんが多くて忙しかった場合に、後で「レジチェック」に入力するの大変。
- ・ 移動時間が長すぎる。
- ・ 時間は限られてはいるが、指導医に急かされると判断や診察が行いにくいので、配慮していただきたいと感じました。



連絡先

長崎大学病院 医療教育開発センター 長崎 外来・救急医療教育室協議会

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話 (095) 819-7881

FAX (095) 819-7882

URL:<http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/>

【室長】 長谷 敦子

【事務】 森 美紀子

【作成】 長谷 敦子 ・ 浜田 久之 ・ 森 美紀子